

第10回「証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会」議事要旨

日 時：	2020年11月6日（金）午後3時～午後3時50分
場 所：	日本証券業協会 第1会議室

次 第

1. 検討事項

- （1）大学との連携について
- （2）株主優待 SDGs 基金の次年度支援先の選定（案）について
- （3）2021 年度「Tokyo 2020 SDGs ゾーン」について

2. 報告事項

- ・SDGs に関する各施策の検討状況等について

議 事

1. 検討事項

（1）大学との連携について

事務局より、資料1に基づき、SDGs 推進に向けた2020年度における東京大学との連携に関する現状や今後のイベント等について説明が行われた。

（2）株主優待 SDGs 基金の次年度支援先の選定（案）について

事務局より、資料2に基づき、株主優待 SDGs 基金に関する2020年度の進捗状況及び2021年度の支援先の選定方針等について説明が行われ、大要以下のとおり意見交換が行われた。

○主な意見

- ・現状、コロナ禍ということもあり、これまで以上に早急な支援が求められる事態であるが、本基金で集まった資金が実際に支援先の手元にわたり、団体が資金を使えるようになるのはいつ頃になるのか。近年、政府の休眠預金を活用して、こども食堂など社会的課題の解決に取り組んでいる NPO 法人等に支給されるようになり、社会貢献活動に提供される資金の質が変わってきたと感じている。加えて、コロナ禍ということで支援にも緊急度合いが増していると感じており、早めに寄付出来るような工夫があるとよいと思う。
- 支援先に寄付をするタイミングは1年に1回としており、毎年3月末に締切り、3月の最終営業日に振り込みを行う。
- ・日本証券業協会を通じて拠出した本資金については、支援先でどのように活用したのか具

体的に特定できるものなのか。

→寄付先を選定する際に、具体的に活用用途が選べるとのことで、「WFP 国連世界食糧計画」を選定し、現在、こどもの学校給食事業への支援を指定している。この事業については、こども一人につき一日 30 円で食事の支援ができ、どのような支援に繋がったか明確にわかるものである。

一方で、「こどもの未来応援基金」は、内閣府が主導しており、こども食堂など複数の団体へ支援するための基金のため、拠出した資金は内閣府の方で各団体に振り分けていただくこととなる。

- ・拠出金額について、インパクトのある金額にするにはもう少し仕組みを工夫した方がよいのではないか。例えば、取引手数料 0 円とする会社が増えてきたが、ある一定の日のみ手数料を取り、全額寄付に充当するなど、証券会社だけでなく顧客も巻き込んで協力いただけるようなキャンペーンを作ってもよいのではないか。ロンドンの当社関係会社では、クリスマスシーズンには著名人を呼んでキャンペーンを行い、その日の取引手数料は全額寄付を行っている。顧客もそれを認識したうえで、ご祝儀ということではないが、その日はいつもより活発にお取引をいただいております、かなりの寄付金額になっている。

（３）2021 年度「Tokyo 2020 SDGs ゾーン」について

事務局より、資料 3 に基づき、2021 年度「Tokyo 2020 SDGs ゾーン」について説明が行われ、大要以下のとおり、意見交換が行われた。

○主な意見

- ・当初の案から大幅に変更となっており、以前のような効果が見込めず、事業として成り立たないと思うため、見送りが妥当だと思う。
- ・本取組みについては、日本証券業協会の他にもスポンサーはいるのか。

→昨年度は複数の業界団体に声をかけていたが、最終的には本協会だけがスポンサーとなったようである。本年度については、現段階では本協会のみにお声がけいただいたと聞いている。

2. 報告事項

・SDGs に関する各施策の検討状況等について

事務局より、資料 4 に基づき、SDGs に関する各施策の検討状況等について説明が行われ、大要以下のとおり、意見交換が行われた。

○主な意見

- ・「証券業界における子供の貧困支援に関する取組み事例集」を拝見し、素晴らしい取組み状況だと感じた。子供の貧困支援については、ぜひ皆様のような社会的影響力の大きい企

業が継続的に取り組んでほしい。

女性活躍に関しても、上場企業では女性の登用が非常に進んできている。また、機関投資家と各企業の IR との対話が女性活躍の推進に非常に良い影響を与えていることがわかった。やはり経営層と機関投資家の動きの 2 つが日本の女性活躍に一番大きな影響を与えるということが認知されてきたので、是非経営層の皆様には、自社の女性役職員に目を向けてほしい。

加えて、今回のコロナ禍で、テレワークが浸透したことで、働き方のパラダイムシフトが起きた。テレワークなどの多様な働き方が担保されたことで、実質的な形で女性活躍などが進んだ状況もあるかと思う。是非皆様には多様な働き方と併せて多様な人材活躍についても検討していったほしい。また、管理職と経営層の意識に働きかけていくために、このような取組みは是非継続的に実施していただきたい。

- ・今年度は各分科会ともに充実した取組みとなっているのではないかと。今年度実施する施策については既に検討が終わり、各施策ともに進められているかと思うが、来年度に向けての取組みについても、どこかで議論・検討する機会を設けても良いと思う。
 - ・SDGs については、長期的に取り組む必要がある課題である。来年度に限らず、もう少し中長期的に、「証券業界としてどういう姿になっていきたいか」を検討できると良いと思う。
 - ・昨今世界中でテレワークが推進され、一つ感じたのは、特にロンドン、ニューヨーク市場ではテレワークの状況下でも取引高が増えている一方、日本では取引を手控えていたり、実際のところでも取引高が減少していた。SDGs とは直接関係ないかもしれないが、証券業界として、今後どのような形で市場の活性化を図ることができるかという議論もしていただけると良いのではないかと。
 - ・「こどもサポート証券ネット」について、個人的には、小口すぎるものはなかなかマッチングしていない印象を受ける。支援を行おうとしてもマッチングできないという事態にならないためにも、小口の支援を集めて一つの大きな支援にできれば、中小の証券会社など参加者もより増えてくると思う。まだ始まったばかりの取組みではあるが、ゆくゆくはそのような方法もご検討いただければと思う。
- 11 月末に、「こどもサポート証券ネット」実務担当者を対象とする会合を開催する。そこで実際の現場の声を聞き、改善できるところから改善していきたいと思う。
- 現在は事務局が手作業で運営しているが、各社のご協力により、支援が非常に活発になってきているので、来年以降は証券会社や NPO 法人等の声を聞きながら、使い勝手の良さも向上していきたい。
- ・「こどもサポート証券ネット」の参加証券会社の所属地区に差がある印象を受けるが、この活動の普及はこれまでどのようにしていたのか。
- 今年 1 月に始まったばかりで、これまで会合等で積極的に参加を促したりしているものではなかった。そのため、これからプロモーションを進めていくところである。

→10 月末より順次各地区の会合にて説明を行っているので、検討いただける証券会社は各地区ともにこれから増えてくると思う。

- ・SDGs に関する資金や寄付について、個社単位では相当な資金を捻出している会社もあるので、業界全体としてはかなり多くの資金が投入されていると思う。一方で、業界一丸となって拠出している金額は、業界として見ると少ないようにも感じており、資金の集め方はもう少し工夫が必要だと思う。先程意見があったように、取引手数料の一部を充当するなど、営業活動にリンクして資金を捻出するなどといった強制力を持たせればまた変わってくると思う。

→売上の一部を社会貢献に充当するなど各社で様々な取組みをしていると思うが、業界として一律に強制するとなると各社それぞれ社会貢献活動に関する姿勢も異なるため、参加できる証券会社から徐々に広がっていけば良いと思う。「こどものみらい古本募金」など、全業態の中で証券業界による寄付が多くを占めている取組みもあるので、個人的には業界としても存在感を示せていると思うが、引き続き頑張っていきたい。

- ・業界として、生産性を上げていくことが課題だと認識をしている。当社でも様々なチャレンジをしているが、どうしても各社員個人のレベルで取引情報を扱うとなると、情報セキュリティという観点からなかなか取組みが進まない。

例えば世間的に言われているようなクラウドサービスでセキュリティを担保するのが一つの考えかと思うが、それを個社ごとに対応するのではなく、業界共通で利用する盤石な情報セキュリティを備えたクラウドサービスを構築するなどをしていかないと業界として生産性が上がっていかないのではないかと考えている。金融業界全体、特に証券業界の課題だと思うので、是非今後そのような方策の検討もお願いしたい。

以 上

本件に関するお問い合わせ先：SDGs 推進室（03-6665-6783）

本議事要旨は暫定版であり、今後内容が一部変更される可能性があります。